

## 山本先生の教え子として、後輩として

小林 弘典

「人去り春秋は うつらふも ロゴス・パトスの 柏葉は  
生ひて茂りて 幾千人 故きを温ね 新しく  
文化を築く わが友よ 世紀の偉業 いざ樹てん」

これは山本先生の母校である鳥取県立米子東高等学校の校歌の一部です。私も高校時代は、先生の後輩としてこの校歌をよく唄ったものですが、歌詞に描かれているような立派な人物に成長することができたかという、やはりまだまだ足りない部分が多いような気がします。一方、先生との四年間を振り返ってみると、楽しい出来事がたくさん思い出されます。

今私たちが所属している島根大学法文学部社会文化学科福祉社会コースは、4年前に教育学部から移転してきたばかりの新しいコースです。移転当時、私たちは一期生かつ一回生で右も左もわからない状態であり、大学生活に不安を覚えていました。先生方とのコミュニケーションに関しては、「大学教授」という肩書きへの先入観があったせいか特に緊張を感じていたように思います。

その緊張と不安を上手くほぐしてくださったのが山本先生でした。先生は非常に気さくな方で、連絡事項を伝えに言った際には笑顔で私たちを出迎えてくださいました。講義では社会福祉原論や生活経営などを担当されていましたが、特に家族の構造や家庭経営の機能についての講義が興味深く、真剣にノートを取っていたことを覚えています。また、コースの飲み会では学生と肩を並べて語り合い、楽しそうにお酒を飲まれていました。私が一回生のときの新入生歓迎会の際には、出身地の話などで盛り上がったように記憶しています。先生の話は面白く、もっと色々なことを聞かせていただきたいと思っていたのですが、女性からの人気が凄くてゆっくり飲み交わす機会を奪われる(?)ことも多々ありました。それだけ先生の人柄が魅力的だったということなのでしょうが...いつかまた飲みに行く機会があればと思っています。

先生のご活動は冒頭の歌詞のように、私たち福祉社会コースに「ロゴス」(言葉、論理を意味する)と「パトス」(感情を意味する)を吹き込むものであったと思います。今の福祉社会コースは先生方と学生との距離が比較的近く、非常に過ごし易いコースであると感じているのですが、その根っこ部分には先生の温かさがあるように思います。後輩たちには先生が残されたものをしっかりと受け継ぎながら、芽が出たばかりのこのコースを大木にまで育て上げてほしいと思います。

最後になりましたが、今まで本当にお世話になりました。ありがとうございました。

(法文学部福祉社会コース4回生)

## 山本先生へ

藤田 容子

山本先生には1,2年生のとき授業でお世話になりました。普段から穏やかな先生ですが、授業中もいつも穏やかで授業がとても楽しく受けられました。寝ている学生を席まで行って起こされるなど、他の先生ではあまり見られないような光景が先生の授業ではよく見られました。先生自身の話もよくしてくださって、学生時代の話などが聞けていろいろ新鮮なことばかりで楽しい授業だったと思います。高校などではできなかった先生との付き合いができてとても楽しかったです。

新入生の歓迎会などの席では、お酒も入っていたのもあるかもしれませんが先生のいつもとは違う一面が見られ、打ち解けた話もできたのでいい思い出ができました。印象に残っているのは、去年の卒業生送別会で山本先生がお話しをされた時のことです。他の先生はマイクを使って普通にお話をされていたのですが、山本先生だけはなぜかマイクを右手に1本、左手に1本持ち、計2本のマイクを使ってお話をされていました。お酒に酔っていたのか、とても不思議な光景で今でもはっきりと覚えています。

また、悩み事があれば相談しなさいといつも授業などでおっしゃってくださいました。先生に話しにくいことなら友達にでもいいから、自分で抱え込むことだけはしないようにと仰ってくださいましたことを今でも覚えています。冗談っぽくではありましたが、お金のことなら、いくらかは相談に乗ってあげるから話してみなさいともおっしゃってくださいましたことが印象的です。今までそういうことを仰ってください先生がいなかったので、「こうしてくれる先生もいるんだなぁ」と驚きました。

いつも私たち学生のことを気にかけてくださり、楽しいお話をしてくださる先生が退職されるのはすごく残念です。私の周りの学生も先生が退職されてしまうことを寂しく思っています。しかし、これからは教育学部にいかれるというのでまた校内で会うことができるかもしれないのを楽しみにしています。お会いした時はよろしく願います。

今まで3年間本当にありがとうございました。そして長い間の教員生活お疲れさまでした。これからの山本先生のますますのご活躍をお祈り申し上げます。

(法文学部福祉社会コース3回生)

## だんだん 山本先生

安部 みゆき

山本先生には、1回生前期の社会福祉原論 と、1回生後期の福祉社会基礎実習、2回生後期の生活経営、集中講義の授業でお世話になりました。また、福祉社会コースのいろいろな行事等でも、あいさつをしていただいたりしました。

授業の思い出といえば、授業中に寝ている人をわざわざ起こしにきてくださったことです。一度だけではなく何度もありました。社会福祉原論 は大学に入ってはじめての試験で、勉強方法もわからず(というかあきらめていて)、答案の空欄もちらほらありました。欠席も2回くらいしたのにもかかわらず、優という成績をくださいました。その時は本当にびっくりして、仏のような先生だなあと思いました(これをご覧になって不可にするのは勘弁してください)。生活経営では、名簿をみながら学生の名前を呼んでいるはずなのに、そして福祉社会コースの学生は1年間以上関わっているので覚えていらっしゃるはずなのに、よく間違えておられました。

実習で老人ホームに行ったときも、説明をしてくださった方は女性だったのに、ダイレクトに年齢を聞いておられました。そのような先生の一言一言が、私たちの笑いのツボにはまり、授業中でも笑ってしまいました。一時は私たちも重症になり、先生を休み時間に見かけただけで笑ってしまったこともあります。失礼な学生ですみませんでした(汗)。

飲み会のとき、いろいろな話をしてくださいました。この文章を書くにあたって、ネタの提供を呼びかけたところ、ある2回生は飲み会の時に先生から聞いた、人生観・恋愛観は素晴らしかったと言っていました。私もぜひ聞きたいです。また、去年の新生歓迎コンパでは、缶チューハイをごっそりとってきて、学生に配っていたり、学園祭のコロッケをわざわざ休みなのに買いに来てくださったりと、学生にも気を配ってくださいました。

このように、山本先生には、いろいろお世話になりました。ありがとうございました。これからもずっと、そのお人柄でいらしてください。

\*「だんだん」は、出雲弁でありがとうの意。

(法文学部福祉社会コース2回生)

## 山本先生との思い出

堀川 侑里

山本先生には、社会福祉原論 の授業でお世話になりました。大学に入って、初めて本格的な福祉の勉強することになる私たちに、やさしく丁寧に教えてくださいました。板書をとて細かいところまで書いてくださったし、重要なところはチョークの色を変えて書いてくださったので、重要な部分の把握もしやすかったです。また、必要な時には資料も配ってくださり、たくさんの知識を習得することができました。板書や配布資料のおかげで、内容理解もしやすくなったし、テスト勉強もスムーズにすることができました。それから、授業中も授業内容の話だけではなく、雑談をおりまぜながらの授業だったので楽しい授業でした。

4 月にあった新歓コンパでは、私の出身が隠岐だと言ったら、「僕の知り合いも隠岐にいるんだよ。」といっている話をしてくださいました。その知り合いの方とはもう長い付き合いになるということ、ウニやアワビの話、そしてそのウニやアワビを隠岐に帰省したとき、福祉社会コースの人数分とってきて欲しいということなど、先生とたくさん会話することができました。地元を離れたばかりの頃だったので、自分の地元の話をされるのはとてもうれしく感じました。それから隠岐の話を授業中にも出してくださいました。山本先生は私より隠岐に詳しく、初めて聞く内容が多かったので自分の地元についても勉強になることもありました。

私は山本先生の授業を受けることができ本当によかったと思います。授業中寝たりして迷惑をおかけすることもあり申し訳なかったですが、これから先生が教えてくださったことを大事にして自分の夢を叶えられるように努力していきたいと思います。山本先生との関わりは前期の授業がほとんどで、そんなにたくさん関わることができなくて残念でしたが、いろいろな話をしたりできたのでいい思い出もたくさん増えました。

退職されても、島根大学や私たちのことを忘れないでください。また、先生と福祉の話や、隠岐の話ができたらいいなと思います。1年間という短い間でしたが、本当にありがとうございました。

(法文学部福祉社会コース1回生)